

問 消防団アンケート結果を踏まえた対応は

消防団にアンケートを実施したが、その後の対応は。形式的な訓練を減らし、実際的な対応訓練にシフトチェンジしていくべきではないか。また、常備消防と消防団の交流を活発化させ、地震や風水害などの災害にも対応できる防災力を高めていく必要があるのでは。

答 訓練の在り方などを検討していく

アンケート結果を踏まえ、消防団の役員と消防職員が集まる会議を定期的に開催し、消防操法の在り方や模擬火災訓練の実施などについて、相談しながら検討するとともに、消防団員と消防職員の交流の活性化に努めていく。



渡辺聡一郎 議員
(新風の会)



問 子育て世代に選ばれる街づくりを

子育て世代に移り住んでもらえる街づくりを目指して、魅力的な公園整備ができないか。子どもが長い時間遊べるような「大型遊具を備えた公園」や「プレーパーク」の整備を検討できないか。市の魅力をアップさせる個性的で魅力的な公園整備が必要と考えるが。

答 安心して楽しめる公園づくりに努める

既存の都市公園への大型遊具の設置は、公園面積や安全基準の面から難しい。新たな公園の整備の際には、子育て世代の方等のご意見を伺い整備を進める。今後も公園の魅力化や適正管理に努め、子育て世代に、安心して楽しくご利用いただける公園づくりを進める。

問 インクルーシブ的発想でのまちづくりを

インクルーシブとは、「排除しない」ということである。つまり、障がいがあっても、高齢者であっても、皆がお互いに認め合って生活ができるまちづくりができないか伺う。

答 誰もが互いに認め合う社会を推進する

第6次白岡市総合振興計画において、子ども、高齢者、障がい者など、誰もが互いに認め合う社会の推進を定め、それぞれの政策、施策及び事業に応じた取組を進めている。今後も、多様な市民が主体的に活躍するまちの実現に向けて取り組んでいく。



中川幸廣 議員
(白岡ビジョン)



問 街バルの成果は

今般、蓮田市とともに「街バル2022」のチケット販売が行われた。しかし、販売直後に「売切れ」となった。なぜこのような事態になったのか伺う。

答 プレミアム率が高かったことが要因

街バルチケット販売数は、主催者である白岡・蓮田合同街バル実行委員会が、過去の販売実績を基に設定しており、開催期間中での完売を目標にしていた。初日で完売したのは、参加店舗の協力により、従来よりプレミアム率が高かったことが要因と考えている。